



インドネシア国 海運・港湾の近代化とエネルギー安定供給のための移送用ポンプの導入案件化調査

大晃機械工業株式会社（山口県熊毛郡田布施町）



対象国インフラ整備・運輸交通分野における開発ニーズ（課題）

- ・ 島嶼国ならではの地域格差
- ・ 発展が遅れている地域との物価・経済格差
- ・ 港湾設備・施設の不足や老朽化

提案製品・技術

- ・ 性能が安定しており、高い移送効率でも振動が少なく壊れにくい、船⇄陸の間で流体を移送するポンプ製品
- ・ デジタル技術を搭載した独自のポンプ遠隔監視システム

本事業の内容

- ・ 契約期間：2022年6月～2023年2月
- ・ 対象国・地域：インドネシア国 ジャカルタ首都特別州及び南スラウェシ州
- ・ カウンターパート機関：運輸省、南スラウェシ州を想定
- ・ 案件概要：流体移送用ポンプをインドネシア国港湾に導入するビジネス展開を図ることで港湾設備の拡充と海運・港湾の近代化によるエネルギー安定供給と国内地域格差是正への寄与を目指し、インドネシア国と人々の生活へ貢献する。



開発ニーズ（課題）へのアプローチ方法（ビジネスモデル）

- ・ 本ポンプ製品を地方政府や港湾管理に携わる機関・企業に導入してもらう
- ・ 加えて、ポンプ監視システムを導入し、定期点検・動作確認の重要性や安全面にも配慮した長期使用の実現と長期トータルコスト削減の知識を伝授する

対象国に対し見込まれる成果（開発効果）

- ・ 移送効率が最大約1.5～2.5倍になるポンプの設置で港湾設備を拡充し、物流パフォーマンスを向上する
- ・ 定期点検やメンテナンス技術の重要性の啓発と技術移転が行われる
- ・ 本ポンプ製品と監視システムの導入・普及により、開発が遅れている地域のインフラを整備し、物流コストを低減し、地域・経済格差の是正に寄与する

2022年6月10日現在